

はじめに

子どもは、浜松市の宝であり、明日への活力の源です。

家庭における養育力や教育力の低下、児童虐待が心配される一方で、地域社会における人間関係や社会意識の希薄化が見受けられるなど、子どもを取り巻く環境が大きく変化するとともに、学校等におけるいじめや不登校も社会問題となっています。また、結婚や出産に対する個人の意識の多様化や、未婚化、晩婚化などにより少子化が進行することで、経済活動の停滞や地域社会の活力低下など、市民生活に深刻な影響をもたらすことが懸念されています。



このような状況に歯止めをかけ、子どもが生き生きと輝く社会を実現するためには、市、保護者、学校等、事業主、子ども育成団体及び市民がそれぞれの役割を果たし、お互いに連携することにより、社会全体で出産や子育て、子どもの育ちをしっかりと支えて、子どもの生きる力をはぐくんでいくことが必要です。

こうしたことから、浜松市では、「浜松市次世代育成支援行動計画」を平成17年3月に策定し、平成18年3月には12市町村の合併に伴う各地域の特性や特色を盛り込んだ行動計画（合併版）を策定し、地域社会における子育て支援など各施策に取り組んできたところです。

平成22年度から平成26年度を計画期間とする後期行動計画の策定にあたっては、前期行動計画の取組の評価や見直し等を通じて、子どもや子育て家庭を取り巻く様々なニーズに対応できるよう、今後5年間の施策、事業を位置付けました。また、社会全体で子どもを健全に育成し、支えていくための基本理念や、それぞれの役割などを定めた「浜松市子ども育成条例」を、平成22年3月に制定しました。

今後、浜松市は、この条例や行動計画に基づき、子どもの育ちや子育て支援等に対する市民の意識を高め、子育てがしやすい環境を整えていくことにより、「生き生きとした笑顔が輝く子どもたちの育ちを目指して、子育てがしやすく楽しいと感じられるまち浜松」を皆様とともに築き上げ、活力ある地域社会の維持発展に努めてまいります。

平成22年3月

浜松市長

鈴木康友